

大分市報

テレビ放送
市民の広場
「ただ今1400匹」他
大分放送TV
10月31日
午前7時15分
テレビ大分
11月13日
午前10時45分

大分市の公害の実態を公表

守ろう郷土の空・海・川

45年公害白書まとまる

市公害課はこのほど昭和四十五年大分市公害行政の概要(公害白書)を発行しました。
この白書はB五版二百五十ページで企業との公害防止協定、各種の調査測定結果、苦情の発生状況の調査結果、予算などをくわしくまとめたものです。
その内容のうち、白書の中心になる調査測定結果について、くわしく説明しましょう。

測定地点の鶴崎小、三佐小、小池原、東大分小、大分工大、大支所、鶴崎工高、市役所、南大分小のうち年平均濃度は大支所が〇・〇三六PPM以下、市役所が〇・〇三〇PPM、東大分小が〇・〇二五PPMとなっており、いずれも環境基準の〇・〇五PPM以下を維持しています。
一時間値及び一日平均値をみると一時間〇・一PPMをこえた時間数では大支所が最も多くて九十八時間、ついで東大分小六十七



街頭でCO、騒音調査をする公害課職員(王子町で)

月別の平均濃度は三佐小、東大分小、南大分小、大支所は夏季に濃度が高くなり、市役所では冬季に高くなる傾向にあります。
一時間値〇・一PPMをこえた日数は全部で七十五日です。
そのうち三十日が八月に発生しています。測定点では大支所が八月に二十一日発生しています。

市内の浮遊粉じんの発生源は、各種製造工程燃焼過程及び自動車排出ガス等が考えられ、とくに冬季に埋立地等からの粉じんが見られます。
粉じん量は四号埋立地の背後地が最も高く、新産都建設局が一立万メートルあたり一八・五・九マイクログラム、ついで東大分小の一四・六マイクログラムとなつています。
硫酸イオン、硝酸イオンは島火の見積が一九・六五マイクログラム、十・九四マイクログラム、ついで新産都建設局が六・七九マイクログラム、七・〇四マイクログラムとなつています。

金属成分は三佐小、新産都建設局が比較的高く、とくに各測定点とも鉄が多い。全体的にみて、粉じんの発生源に比較的近い、新産都建設局、家島火の見積、三佐小が高い値を示しています。
水質汚濁
工場排水は紙、パルプ工場の排水がCOD(化学的酸素要求量)BOD(生物学的酸素要求量)、S(浮遊物)の濃度が高く、しかも排水量が極めて多いため、これらの汚濁負荷量は非常に大きいです。
住友化学工業川津川排水はCOD、BODの濃度、負荷量ともに高くまたフェノール類の濃度も高い値を示しています。

大分の青空いつまでも
9月のSO₂と浮遊粉じん
9月の平均硫酸ガス濃度は小池原消防団詰所、市役所、竹中小学校を除いて、やや低めになっています。
浮遊粉じんの平均濃度は、先月に比べて約半分になっています。
各測定点のうち、南大分小学校は〇・〇三六ppmで、依然として、市内の最高値を示しています。ガスの測定を新たに開始しますが、先月に比べると濃度は下がっています。

ただ今千四百匹

猿口調査でわかる

高崎山ニホンザル自然群体数調査(猿口調査)が、大分・モンスーセンター・大分市によって九月二十一日から十月三日まで高崎山の現地で行なわれました。
この調査はサル行列の頭数を数えることにより群れの頭数、性別、年齢、構成を調べたもので、群れごとの調査結果をまとめたもので、A群八百八十四匹、B群二百三十三匹、C群二百四十四匹合計千三百五十二匹となつています。
この他各群れとも群れ別行動を共にするほかきつね、若、オスや群れとは一応関係なく部落にあられるサルもあり、それらを合計すると高崎山に現在いるサルの総数は約千四百匹とみられています。
次に、年齢構成は全体的群れの社会的な状態に大きく関係するものと考へられて、いるもので、調査の細かい分析が行なわれていないので、概略的な数字をみることにします。
A群は大きな集団で、調査結果はラフなものになっていますが、オス(五歳以上)七十七、八十頭、メス(五歳以上)二百六十二、九十頭、四歳以下三十五頭、三歳以下二十頭、アカンボウ(今年生まれ)百四十四、百四十五頭となつて

戦没者追悼式を開く

しめやかに

四十六年度大分市戦没者追悼式が十月二日午前十一時から県体育館で遺族や市の関係者多数が参加のもとに開かれました。
今年には増上し設けられた「大分市戦没者追悼式」のまわりに赤いカーネーション、白、黄の菊の花四千本を飾るなどして新しい趣向を取り入れました。
式ではまず全員が君が代を斉唱したあと、戦没者五千五百八十一名(全員)の黙とうをし、ついで英雄の曲の流れる中で安楽市長をはじめ後援者、市議員、市議会議長らが一輪の白菊をささげ、追悼の意を述べました。
また遺族を代表して西大分の石ヨシエさんが「戦後二十六年私たちは平和に暮らしています。この平和と繁栄はあなたがたの尊い犠牲のおかげです。……」と追悼文を読みあげました。
出席した遺族約二千五百人はしめやかな雰囲気と追悼の辞の中にありし日の故人の姿を思い出したと、各校区の遺族会長をはじめ後援者、市議員、市議会議長らが一輪の白菊をささげ、追悼の意を述べました。

自然と親しもう

霊山森林まつり

第二回霊山森林まつりが十一月七日に植田の霊山森林公園で開かれます。
この祭りは自然の森を生かして作られた霊山森林公園でさわやかな秋の一日を家族そろって過すのもらおと昨年同様、聞くものがあります。
今年の催しものはゲーム大会、宝さがし、もちまき、芸能大会、くりひろげます。
家族そろって霊山森林まつりにお出かけください。

10月・11月交通事故相談日

月	日	場所	時間
10月	19日	植田支所	午前中
10月	30日	鶴崎支所	
11月	9日	大南支所	
11月	13日	大南支所	
11月	16日	植田支所	
11月	27日	鶴崎支所	

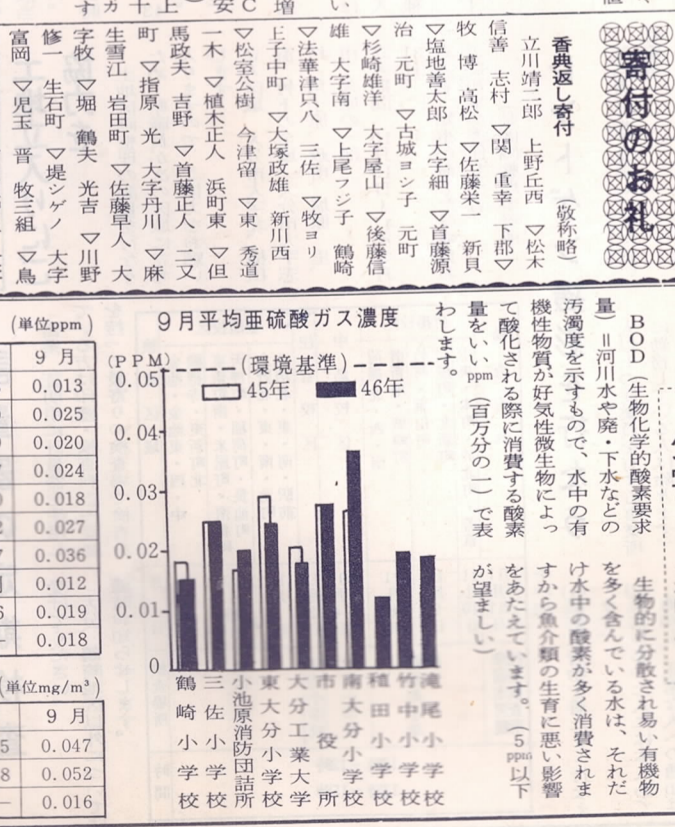
本庁は上記の日、10月26日、木曜日、休日を除く日にしています

46年月別平均亜硫酸ガス濃度 (単位ppm)

測定場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月
鶴崎小学校	0.018	0.014	0.019	0.023	0.018	0.013
三佐小学校	0.024	0.020	0.025	0.031	0.030	0.025
小池原消防団詰所	0.023	0.021	0.019	0.033	0.019	0.020
東大分小学校	0.022	0.017	0.021	0.030	0.027	0.024
大分工業大学	0.023	0.017	0.021	0.023	0.020	0.018
市役所	0.028	0.021	0.023	0.027	0.022	0.027
南大分小学校	0.021	0.019	0.027	0.048	0.047	0.036
植田小学校	0.014	0.013	0.016	0.016	欠測	0.012
竹中小学校	0.022	0.017	0.020	0.017	0.016	0.019
滝尾小学校						0.018

46年月別平均浮遊粉じん量 (単位mg/m³)

測定場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東大分小学校	0.070	0.047	0.120	0.054	0.075	0.047
市役所	0.066	0.064	0.098	0.055	0.098	0.052
三佐小学校						0.016



公害ミニ辞典

BOD(生物学的酸素要求量) 川や池、下流などの汚濁を示すもので、水中の有機物を分解する際に消費される酸素量をいいます。(5ppm以下を望みます)

浮遊粉じん 水中の有機物を分解する際に消費される酸素量をいいます。(5ppm以下を望みます)

浮遊粉じん 水中の有機物を分解する際に消費される酸素量をいいます。(5ppm以下を望みます)

